

番 号 : 140627

国 名 : ウガンダ

担当部署 : 社会基盤・平和構築部運輸交通・情報通信グループ

案件名 : カンパラ市交差点管理能力向上プロジェクト詳細計画策定調査 (都市交通計画)

### 1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務 : 都市交通計画
- (2) 格 付 : 3号
- (3) 業務の種類 : 調査団参団

### 2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間 : 2014年9月上旬から2014年11月下旬まで
- (2) 業務M/M : 国内 0.50M/M、現地 0.53M/M、合計 1.03M/M
- (3) 業務日数 : 準備期間 5日 現地業務期間 16日 整理期間 5日

### 3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数 : 1部
- (2) 見積書提出部数 : 1部
- (3) 提出期限 : 8月20日(12時まで)
- (4) 提出方法 : 専用アドレス (e-propo@jica.go.jp) への電子データの提出又は  
郵送(〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル) (いずれも  
提出期限時刻必着)

※2014年2月26日以降の業務実施契約(単独型)公示案件(再公示含む)より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を本格導入しています。

提出方法等詳細については当機構ホームページ(ホーム>JICAについて>調達情報>お知らせ>「コンサルタント等契約における業務実施契約(単独型)簡易プロポーザルの電子提出本格導入について」([http://www.jica.go.jp/announce/information/20140204\\_02.html](http://www.jica.go.jp/announce/information/20140204_02.html)))をご覧ください。なお、当機構本部1階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご注意ください。

### 4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等 :
    - ①業務実施の基本方針 16点
    - ②業務実施上のバックアップ体制等 4点
  - (2) 業務従事者の経験能力等 :
    - ①類似業務の経験 40点
    - ②対象国又は同類似地域での業務経験 8点
    - ③語学力 16点
    - ④その他学位、資格等 16点
- (計100点)

類似業務	都市交通計画に係る各種業務
対象国/類似地域	ウガンダ/全途上国
語学の種類	英語

### 5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等 : 特になし
- (2) 必要予防接種 : なし

## 6. 業務の背景

ウガンダは人口 34,759 千人 (2013)、1 人当たり GNI 440US ドル (2012) である。内陸国であるが、鉄道網が機能していないため貨物及び旅客運搬の 92%以上が道路によって担われており、経済開発上、道路が非常に重要な位置を占めている。ウガンダにおける自動二輪車を含む車輛登録台数は 1997 年の約 15 万台から 2008 年の約 47 万台へと年率 10.9%のペースで増加して、特に、人口の約 1 割が集中する大カンパラ都市圏では、交通混雑が深刻な問題となっている。また、郊外から市中心部に流入する通勤・通学交通による朝夕の交通ピーク時の渋滞だけでなく、市中心部においては恒常的に渋滞が発生しており、カンパラ市中心部の交通改善が求められている。

2009 年にウガンダ政府が策定したカンパラ都市交通計画 (目標年次 2018 年) においては、主要幹線道路の拡幅および高規格化、交差点改良等からなる道路網改善をコンポーネントの一つに位置付けている。同計画では道路網改善とともに公共交通志向型開発 (Transit Oriented Development: TOD) を推進するとしており、この一環として、世界銀行等の資金協力によるバス・ラピッド・トランジット (以下、BRT) のフィージビリティスタディ (以下、F/S) 及び詳細設計調査が進行中である。また、2010 年 4 月から実施されている国家開発計画 (2010/2011 年-2014/2015 年) でも、大カンパラ都市圏の交通改善について言及されている。

我が国の対ウガンダ国別援助方針では、道路の運営・維持管理の必要性について言及されており、JICA は、2010 年に実施した大カンパラ都市圏道路網及び交通改善計画調査 (以下、2010 年調査) において、市中心部における幹線道路の拡幅と混雑の激しい交差点の立体化を優先事業として提案し、プレ F/S を実施した。これを受け、JICA は有償資金協力事業「大カンパラ都市圏道路網改善事業」の協力準備調査を 2012 年から実施している。

このような状況の中、カンパラ首都庁 (KCCA) は、今後実施される交差点の改良事業及び信号の設置等交通流の円滑化を見据え、2013 年 7 月に KCCA の交差点管理能力向上等のための技術協力プロジェクトを要請した。本詳細計画策定調査は、上記要請に基づき、ウガンダ側関係機関と協議の上、協力コンポーネントの策定を行うものである。

なお、プロジェクト名称については、ウガンダ側からの要請に基づき「カンパラ市交差点管理能力向上プロジェクト」としているが、本調査では、交差点管理に関する活動を念頭に置きつつも、都市交通計画全般の適切な対応策検討のための調査を実施する。

## 7. 業務の内容

本業務の業務従事者は、技術協力プロジェクトの仕組み及び手続きを十分に把握の上、他の業務従事者や調査団員として派遣される機構職員等と協議・調整しつつ、担当分野に係る協力計画策定のために必要な以下の調査を行う。また、本業務従事者は、他の課題を担当業務とする業務従事者が行う報告書 (案) 全体の取りまとめに協力する。

具体的担当事項は次のとおりとする。

### (1) 国内準備期間 (2014年9月上旬～9月下旬)

- ① 要請背景・内容を把握 (要請書・2010年調査の結果等関連報告書の資料・情報の収集・分析) の上、現地調査で収集すべき情報を検討し、ウガンダ側関係機関 (C/P機関、交通警察等) に対する質問票 (案) (英文) の作成に協力する。質問票はウガンダ事務所を通じて事前配布を行う。
- ② プロジェクトのPDM (Project Design Matrix) 案、PO (Plan of Operations) 案の担当分野関連部分を検討する。
- ③ 対処方針会議等に参加する。

### (2) 現地派遣期間 (2014年9月下旬～10月中旬)

- ① 当機構ウガンダ事務所等との打合せに参加する。
- ② ウガンダ側関係機関との協議及び現地調査に参加する。
- ③ カンパラ市内の交通渋滞について、2010年調査の結果もふまえ、以下の情報・資料を収集し、渋滞の原因を確認する。
  - ア) 交通流・交通量の現状

- イ) 交通関連インフラの実態
- ウ) 走行する交通車両の構成・特性(自家用車、タクシー、バス、パラトランジット、バイク等)
- ④カンパラ市内の交通渋滞解消に向けた以下の施策・活動について検討を行う。
  - ア) 交通流円滑化のための施策
  - イ) 交通需要を抑えるための施策
  - ウ) 市民に対する交通安全啓発のための活動
- ⑤国内準備期間で配布した質問票の回収に協力し、担当分野に関する項目について、結果を分析し調査団内に教習する。そのうえで、担当分野に係る以下の項目について、現状及び課題を確認する。
  - ア) カンパラ市内の交通計画に係る関係機関の組織体制・保有機材・運用状況・権限・役割・意思決定プロセス
  - イ) 関係機関の交通計画策定能力
  - ウ) 交通教育
  - エ) 交差点改良や交通信号に係る基準
  - オ) 交通管制システムの仕様・運用状況
  - カ) 他ドナー(世界銀行、欧州連合等)による協力と本案件との関連性(特に、世界銀行がカンパラ市内の交差点における交差点改良と信号機導入を計画しており、本プロジェクトとの連携が期待される)
- ⑥プロジェクトの基本計画を検討し、担当分野に係るPDM案、P0案の作成に協力する。
- ⑦担当分野に係る現地調査結果を当機構ウガンダ事務所等に報告する。
- ⑧評価5項目(妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性)の観点からプロジェクトを分析し、事業事前評価表(案)の作成に協力する。

(3) 帰国後整理期間(2014年10月中旬~11月中旬)

- ①事業事前評価表(案)作成に協力する。
- ②PDM案、P0案、R/D(Record of Discussions)案及びM/M(Minutes of Meetings)案の作成に協力する。
- ③帰国報告会、国内打合せに出席し、担当分野に係る調査結果を報告する。
- ④担当分野に係る詳細計画調査報告書(案)を作成するとともに、他の担当分野の業務従事者が作成する報告書(案)を含めた全体の取りまとめに協力する。

## 8. 成果品等

本契約における成果品は以下のとおり。

- (1) 担当分野に係る詳細計画策定調査報告書(案)(和文)  
電子データをもって提出することとする。

## 9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約における見積書作成ガイドライン」(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>)を参照願います。留意点は以下のとおりです。

- (1) 航空賃及び日当・宿泊料等  
航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含めず、当機構より別途支給します(見積書の航空賃及び日当・宿泊料等欄には0円と記載下さい)。

## 10. 特記事項

- (1) 業務日程/執務環境

- ①現地業務日程

現地派遣期間は2014年9月27日~10月12日を予定しています。

当機構の調査団員は本業務従事者と同時に現地調査を開始し、本業務従事者より約1週間

早く現地調査を終える予定です。すなわち、本業務従事者および評価分析団員が単独で現地調査を行う期間があります。

②現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

- ア) 総括（当機構）
- イ) 協力企画（当機構）
- ウ) 都市交通計画（コンサルタント・本公示分）
- エ) 評価分析（コンサルタント・別途公示済み）

③便宜供与内容

当機構ウガンダ事務所による便宜供与事項は以下のとおりです。

- ア) 空港送迎  
あり
- イ) 宿舍手配  
あり
- ウ) 車両借上げ  
全行程に対する移動車両の提供
- エ) 通訳備上  
なし
- オ) 現地日程のアレンジ  
機構がアレンジします。
- カ) 執務スペースの提供  
なし

(2) 参考資料

1) 貸与資料

本プロジェクトの要請書を、当機構社会基盤・平和構築部（TEL:03-5226-6951）にて貸与いたします。なお、本要請書については当機構にお越しいただいたうえでお渡しし、プロポーザル提出期限までにご返却いただきます。

2) 公開資料

以下の資料が、当機構図書館のウェブサイト（<http://libopac.jica.go.jp/>）で公開されています。

- ・ウガンダ共和国大カンパラ都市圏道路網及び交通改善計画調査事前調査報告書（2007年）
- ・ウガンダ共和国大カンパラ都市圏道路網および交通改善計画調査報告書 和文要約（2010年）
- ・ウガンダ共和国大カンパラ都市圏道路網および交通改善計画調査報告書 信号機操作および管理マニュアル 和文要約（2010年）

(3) その他

- ①業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。
- ②交差点改良およびそれに伴う渋滞緩和に関する業務経験があることが望ましいです。
- ③ウガンダ国内での活動においては、当機構安全管理措置を遵守するとともに、当機構総務部安全管理室、当機構ウガンダ事務所の指示に従い、十分な安全対策措置を講じることとします。